

# 演習 I

担当者 太田 一樹

開講時期 通年 単 位 4

## ●講義の概要

企業の戦略やマーケティングなど経営の実践的課題を分析し、理論的視点からその現象を解明していく。そして理論的検討と企業として展開すべき選択肢を検討していく。議論する内容を一例としてキーワードであげると、戦略、イノベーション、価値創造、アジア市場、生産性、日本の経営である。特に、大企業だけでなく中堅・中小企業の経営について理論的・実践的に究明していく。

## ●講義の到達目標

講義の概要に関するテーマの修士論文が作成できるように次のような能力を養うことを目標とする。

- ①講義の概要で示したキーワードなど経営学（広義）関連の基本的概念を理解する。
- ②経営学に関する専門書を能動的に読み、批判的に検討することができる。
- ③自らの力で企業現象を分析し問題設定できる能力と、それを（簡単な）論文に仕上げることができる。

## ●講義計画

上記の到達目標が達成できるように次のような講義を予定している。

- ①経営学など基礎文献の輪読とディスカッション
  - ②研究の方法論に関する文献の輪読とディスカッション
  - ③研究分野（修士論文）のテーマ探しの方法
  - ④ケースの作成（関心のある業界や企業など）
  - ⑤フィールド調査（国内・国外のインタビュー調査など）
- \*自らが問題意識を持ち理論を参照しながら考える能力を涵養しつつ、多面的視点から修士論文を執筆できる能力を養ってもらいたい。

## ●成績評価基準と方法

上記の到達目標の達成度を測るために、次の方法で評価する。

- ①ディスカッションおよびプレゼン内容：50%
- ②レポート課題：50%

## ●テキスト又は参考文献

テキストについては受講生の関心と知識レベルを勘案して相談しながら決める。また、参考文献については適宜紹介する。

## ●受講上の留意点

- ①経営学分野の基礎的な知識を修得しておくこと。
- ②議論を建設的なものにするために、事前課題は必ずやってくる。
- ③できるだけ論理を意識しながらディスカッションを丁寧に行うこと。
- ④経営理論に関心を持ち批判的に論文を読む習慣を身につけること。